

—— サンマテオ郡 ——  
カリフォルニア州有権者による選択法  
2020年1月～2024年1月への補助資料  
選挙管理計画  
2020年11月3日、本選挙用



マーク・チャーチ事務局

主任選挙担当官 & 査定官・郡事務官・書記官

登録 & 選挙部門

40 Tower Road, San Mateo, CA 94402

電話: 650.312.5222 ファックス: 650.312.5348

Eメール: [registrar@smcacre.org](mailto:registrar@smcacre.org) ウェブサイト: [www.smcvote.org](http://www.smcvote.org)

  @smcvote

This page intentionally left blank

# 目次

選挙主任担当官からのメッセージ.....	1
選挙に関する変更の概要.....	2
安全な投票のための選択肢.....	3
投票センター.....	3
郵送による投票.....	3
投票用紙の印刷.....	3
投票用紙の郵送.....	4
予備の投票用紙.....	4
リモートアクセス可能な郵送による投票システム.....	4
投票用紙投函ボックス.....	4
カーブサイド投函とドライブスルー投票.....	4
開票.....	5
有権者教育およびアウトリーチ.....	6
有権者ワークショップ.....	6
テキストメッセージで有権者に連絡.....	6
登録率が平均以下の地域を対象とするハガキ.....	6
選挙管理計画 2020 年～2024 年付属書のまとめ.....	7
提案されている投票センターの場所.....	7
投票用紙投函ボックスの配置場所.....	7
投票センターのレイアウト.....	7
コミュニティパートナー.....	7
コミュニティイベントカレンダー.....	7
メディアパートナー.....	7
例：有権者への直接的な連絡.....	7
パブリックコメント.....	8
登録・選挙部門からの回答.....	9

This page intentionally left blank



OFFICE OF  
**ASSESSOR-COUNTY CLERK-  
RECORDER & ELECTIONS**  
COUNTY OF SAN MATEO

**MARK CHURCH**  
CHIEF ELECTIONS OFFICER &  
ASSESSOR-COUNTY CLERK-RECORDER

October 30, 2020

有権者の皆様：

2020年1月から2024年1月の期間に関するサンマテオ郡の**選挙管理計画 (EAP)** に対するこの補助資料には、2020年11月3日の大統領本選挙に固有の計画が含まれています。世界規模のパンデミック下での選挙の実施というこれまでに例のない異常な状況により必要となった、当郡の**EAP** への変更に対処するための補助資料が必要となりました。スペイン風邪の第2波によって投票率が前回の中間選挙を下回った1918年11月5日の中間選挙とは大きく異なり、コロナウィルス感染症のパンデミックにも関わらず、今回の選挙では地域的に記録的な投票率が予想されます。続くページでは、11月の選挙で遵守することになる法律と州のガイダンスについて説明します。

皆様にぜひ知っていただきたいことを1つ選ぶとすれば、サンマテオ郡の有権者は安全、確実、かつ便利な方法で選挙に関わるサービスを受けることが期待できるという点です。

サンマテオ郡は、カリフォルニア州で最初の郡の1つとして、[カリフォルニア州有権者による選択法 \(California Voter's Choice Act\)](#) に基づき、2018年に郵送による投票 (VBM) を実施しました。そして、今回はこの「有権者による選択法」に基づく5回目の選挙となります。通常の手順として、登録有権者全員にVBM投票用紙と「投票しました」ステッカー、および郵便料金支払い済みの返信用封筒が自動的に郵送されます。全ての有権者に、自宅で便利かつ安全に投票する機会がもたらされることとなりますが、これはコロナウィルス感染症環境下では特に重要です。

投票所での直接投票を希望する場合は、45カ所の投票センターが利用可能です。3カ所の投票センターが期日前投票向けに10月5日にオープンします。有権者とスタッフの健康と安全を保護するために、多数の安全対策が実施されます。スタッフには個人保護具が提供され、有権者には有権者間の複数の接触を最小化するために使い捨て用品が提供されます。投票記入タブレットや投票ブースなど、通常共有される用品や表面は、有権者ごとに清潔にします。こうした新たな作業により、選挙日当日には有権者の方々の待ち時間が延びる可能性が高くなります。

ほとんどの有権者にとっての新たな選択肢は、「遠隔アクセス可能な郵送による投票 (RAVBM) システム」によって投票できることです。RAVBMのおかげで有権者はインターネットとプリンターに接続されたコンピューターを使って自分の選択肢にマークを付け、投票用紙を印刷することができます。サンマテオ郡は2017年にカリフォルニア州で最初の郡として「郵送によるアクセス可能な投票システム」を展開しました。これは障害を持つ有権者、海外および軍人の有権者を支援するために開発されたものです。RAVBMシステムへのアクセス方法に関する情報は、郡のウェブサイト、[www.smcvote.org](http://www.smcvote.org) に掲載されており、「投票用紙見本と有権者情報パンフレット」と公式投票用紙パケットの両方にも含まれます。

希望する投票方法がどれであれ、投票することを推奨します。そして期日前投票を奨励します。

敬具

Mark Church

40 Tower Road, San Mateo, CA 94402

P 650.312.5222 F 650.312.5348 email [registrar@smcacre.org](mailto:registrar@smcacre.org) web [www.smcacre.org](http://www.smcacre.org)

## 選挙に関する変更の概要

サンマテオ郡登録・選挙部門は [議会法案 860](#) および [上院法案 423](#) の規定に基づき、2020年11月3日大統領本選挙に対して義務付けられたカリフォルニア州選挙条例への変更に従います。また、州務長官による [コロナウイルス感染症下の選挙管理ガイドンス](#)（2020年8月27日改訂）、および追加の改訂事項にも従い、州および郡の公衆衛生命令に従い当郡の投票センターにおいて有権者とスタッフの安全を維持するための安全と衛生の活動を実施します。

公衆の健康と安全のために、各投票センターには健康アンバサダー/グリーターが配属され、有権者にマスク着用を要請したり、防護活動についての質問に答えたり、有権者に物理的距離の確保のためのマーカーに従うよう再確認を要請したりします。障害についての訓練を受けたグリーターが、質問のある有権者や、支援を求める有権者がいないかをたずねながら、有権者の各列を歩き回ります。投票センター内のチェックインテーブルにはプレキシガラスのシールドが配置され、スタッフが物理的距離を確保する必要なしに有権者を支援できるようになります。

議会法案 860 に基づくサンマテオ郡への新規事項：

- 当郡の「遠隔アクセス可能な郵送による投票（RAVBM）」システムへの普遍的アクセス。<sup>1</sup>
- 「郵送による投票」の投票用紙の受領締切を選挙日の消印から選挙日後 17 日目の消印に延長。<sup>2</sup>
- 「郵送による投票」の投票用紙の処理は選挙前 29 日目に開始することができる。<sup>3</sup>

議会法案 860 は、「郵送による投票」の全投票用紙について、有権者に投票用紙トラッキングシステムを提供することを義務付けています。サンマテオ郡の有権者は引き続き、自身の投票用紙がいつ受領され、いつ集計されたかを、郡のウェブサイト ([www.smcvote.org](http://www.smcvote.org)) の [My Election Info](#) で確認することができます。有権者は、州務長官が提供する郵送による投票の投票用紙トラッキングシステムである「[Where's My Ballot?](#)」に登録することもできます。

[上院法案 423](#) は、2020年11月3日の州総選挙前3日目より以前に郡が投票センターをオープンしないことを許可していますが、サンマテオ郡では選挙の29日前に3カ所の投票センターをオープンする慣行を継続します。

2020年5月、州務長官事務所は [選挙条例 \(EC\) 14201](#)、言語少数派決定に基づき、州が定める言語を新たに追加しました。これら3言語（ビルマ語、ヒンズー語、日本語）はサンマテオ郡の規定言語に加えられました。サンマテオ郡では投票用紙の複製をこれらの言語で提供、掲示し、教育とアウトリーチを行います。

登録・選挙部門では、投票の選択肢をさらに拡大するために、トラックで移動可能なモバイル投票センターを追加しました。モバイル投票センターのスケジュールには、大規模なショッピングセンター<sup>2</sup>カ所、小規模な空港、コーストサイドのハイスクール、およびイベント会場を象徴するカウパレスの駐車場が含まれます。会場は [カリフォルニア州有権者による選択法 \(California Voter's Choice Act\)](#)<sup>4</sup> で定める15の規準と、「Center for an Inclusive Democracy」の設置場所ツールの推奨事項に基づいて選択されました。

<sup>1</sup> RAVBM システムは障害を持つ有権者、海外在住の有権者、軍人および/または軍人の家族のために開発されました。

<sup>2</sup> 現行法の下では、選挙日の消印付き投票用紙の受領締め切りは選挙日後3日間です。

<sup>3</sup> 現行法の下では、郡は郵送による投票の処理を選挙の10事業日前に開始することができます。結果は選挙日の夜に全ての投票所が閉鎖されるまで依然として発表されません。

<sup>4</sup> 規準には次への近接度が含まれます：公共交通機関、郵便による投票が歴史的に低いコミュニティ、人口密集地、言語マイノリティのコミュニティ、障害のある有権者、自動車所有率の低いコミュニティ、低所得コミュニティ、未登録の有権者のコミュニティ、地理的に孤立している集団、および無料の駐車場へのアクセス、会場到着までに有権者が必要とする時間と距離、障害のある有権者にとっての代替投票方法の必要度、交通パターン、法律で確立された投票センターに加えて、モバイル投票センターの必要度（国公立大学のキャンパスを含む）。

## 安全な投票のための選択肢

サンマテオ郡では、この極めて困難な時期に 2020 年 11 月 3 日の大統領本選挙を安全に実施する準備を整えています。

### 投票センター

登録・選挙部門では、コロナウィルス感染症に対応して、CDC と郡の衛生基準の順守のために、2020 年 3 月に手順および投票センターの修正計画をスタートしました。

サンマテオ郡には、[今回の選挙のために 45 カ所の投票センターが郡全体の便利な場所に配置されます](#)。登録・選挙部門が投票センターの最適な会場を見極めるために使用した「カリフォルニア州有権者による選択法」に記載されている 15 の要素と、「Center for an Inclusive Democracy」の投票会場の設置場所ツールの使用に加えて、投票センターはまた、有権者間および有権者とスタッフの間に十分な物理的距離を維持するためのスペースを確保できるよう検査されています。すべての投票センターはアクセシブルです。

投票センター担当者（VCR）はオンラインと対面での両方の研修を受けることになっています（参加者間の物理的距離を可能にするために再構成された研修室が使われます）。VCR の主な役割はこれまで、有権者のチェックイン、印刷済みの投票用紙または有権者が投票記入機器を使用するためのカードの提供でしたが、これからは清掃要件と消毒の研修も受けることとなります。VCR には、個人保護具（マスクおよび手袋など）の使用に関するガイダンスが行われます。投票センターのスタッフはこうした追加の任務の遂行を可能にするために増員されます。

すべての VCR は障害に関するエチケットおよびカスタマーサービスに関する訓練を受けます。この障害に関するセンシティブティ認識訓練に含まれる原則は、礼儀正しく、援助を申し出て、必要なサポートを有権者が明確にする機会を提供するというものです。また、マスクを着用していない人の基本的な投票の権利を否定しないために、マスク着用の例外事項の存在についても認識します。

マスクを着用していない有権者には投票に利用できるすべての選択肢が提供され、これには郵送による投票用紙の持ち帰りの発行、RAVBM（遠隔アクセス可能な郵送による投票）システムの提案、投票用紙または投票センターの外に設置された投票マーケティング施設の提供などが含まれます。VCR は、障害のある有権者の尊厳を尊重しつつ、公共の安全を確保するよう訓練を受けます。

投票センターの職員は引き続き、投票用紙の複製コピーの目的および有権者の依頼があった場合の複製投票用紙の提供方法について研修を受けます。研修には 3 月の選挙から追加された新規の言語についての情報が含まれます。

当郡によってサービスが提供、される全ての言語に翻訳された参照用の投票用紙のための表示は、新たに義務付けられた 3 つの言語（ビルマ語、ヒンズー語、日本語）によって改訂されます。

投票日の行列を避けるために、有権者の皆様に早めの投票をお勧めします。

### 郵送による投票

2018 年の「カリフォルニア州有権者による選択法」を初めて導入した 5 つの郡の 1 つとして、サンマテオ郡は登録有権者全員に[郵送による投票の投票用紙](#)を送付する準備が整っています。有権者には、記入済みの投票用紙の返却方法として、郵送する、公式投函ボックスを使用する、投票センターに投票用紙を持参するという選択肢があります。[今回の選挙では 39 カ所の投函ボックスの場所](#)が用意され、これは予備選挙の際の 33 カ所から増加しているため、投票用紙の返却がより便利になりました。投函ボックスの場所は、投票センターと同様、「カリフォルニア州有権者による選択法」が定める 15 の設置場所規準に基づいて選択されます。

### 投票用紙の印刷

登録・選挙部門では、12 年以上に渡って米国内最大の投票用紙印刷会社の 1 つである K&H Election Services と連携してきました。同社との協力の下、サンマテオ郡の登録有権者に郵送する 427,000 通以上の投票用紙を作成する準備を整えています。

### 投票用紙の郵送

各選挙に先立って、登録・選挙部門は米国郵政公社 (USPS) のスタッフと会合を開き、郵送日、予想される数量に関する情報を前もって提供し、USPS によって実施される変更事項を見直します。

サンマテオ郡は USPS と素晴らしい仕事上の関係を持っており、投票用紙の配布と回収を適時に行うために、選挙の時期を通して連携していきます。

有権者は州長官の [BallotTrax service](#) によって自身の投票用紙を追跡できます。有権者は、[Wheresmyballot.sos.ca.gov](#) で「Where's My Ballot? (私の投票用紙の行方は?)」に登録することで、「郵送による投票」の自身の投票用紙の状況について、テキストメッセージ、Eメール、電話を通じて、あらゆる段階で自動的に通知を受け取ることができます。

### 予備の投票用紙

有権者は予備の投票用紙を自分宛に郵送してもらうことを 10月27日まで請求できます。投票センターに出向いて受け取ることもできますが、今回の選挙に関しては、待ち時間を減らすために、有権者は投票センターを訪れる前に予備の投票用紙を請求することが可能です。請求を提出し、受け取りの場所を選択するための請求用紙は当郡のウェブサイト [www.smcvote.org](#) に掲載されており、また、受け取りの1日前に 650.312.5222 に電話/テキストで用紙を請求することもできます。投票用紙を手渡す準備が整うと、受け取り場所に関する指示が記載された Eメールが送信されます。

### リモートアクセス可能な郵送による投票システム

この11月の選挙では、有権者全員が「[リモートアクセス可能な郵送による投票 \(RAVBM\) システム](#)」を利用して、インターネットとプリンターに接続したコンピューターから、投票用紙に安全にアクセスし、マークし、印刷することができます。このサービスは、障害を持つ有権者が自身の投票用紙を自分自身で安全に受け取り、マークするための選択肢となってきました。また、海外の有権者と軍人の有権者にも適時に投票する方法を提供してきました。コロナ感染症によるパンデミックに対応して、できる限り簡単に利用しやすい方法で投票できるように、このサービスが有権者全員に拡大されました。マーク済みの投票用紙は郵便または投函ボックスを使って、登録・選挙部門に返送する必要があります。地元在住の有権者は Eメールやファックスを使って投票用紙を返却することはできません。<sup>5</sup>

### 投票用紙投函ボックス

10月5日より、有権者は郡全体の便利な地域に配置された 39 の投票用紙投函ボックスを利用できるようになります。29カ所の投函ボックスは屋外に配置されているので、毎日 24時間利用できます。どのボックスも安全で、室内のボックスには安全ロックと固定ケーブルが含まれ、屋外のボックスはスチール製でボルトを使ってコンクリートに埋め込まれています。すべての投票用紙投函ボックスとその場所は障害のある有権者が身体的にアクセス可能です。

2人1組のチームが 10月5日から 10月25日の間は週2回、10月26日から 11月1日の間は週3回、そして 11月2日と投票日には少なくとも 1日1回、投函ボックスの中身を取り出し空にします。回収された投票用紙は処理と安全な長期保管のために登録・選挙部門に戻されます。

### カーブサイド投函とドライブスルー投票

45カ所のすべての投票センターにおいて、有権者は車から出ずに、封印された投票用紙をボランティアとスタッフに受け取ってもらうことができます。このカーブサイド投函を利用すると、有権者は投函ボックスのドアを開ける必要なく、より迅速に投票用紙を投函することができます。この方法は、歩行が困難や、その他の身体的制約がある人々に、公式投函ボックスに投票用紙を投函することへのもう一つの選択肢も提供します。

---

<sup>5</sup> 軍人および海外の有権者は、投票用紙返却に関する他の選択肢について [Federal Voting Assistance Program \(連邦投票支援プログラム\)](#) を参照してください。

サンマテオ郡イベントセンターでは、有権者は紙の投票用紙を自身の車から受け取る選択肢もあります。カーブサイド投函とドライブスルー投票によって、脆弱な人々のグループに属する有権者がコロナウイルス感染症への暴露の可能性を回避することが可能になります。

チームは、相互に 6 フィートの距離を維持する、マスクを着用し、手袋を使用して運転者から封筒を受け取るなどの、コロナウイルス感染症に関する予防措置に従います。ボランティアとスタッフを天候から保護するために、キャノピーが設置されます。A フレームは、カーブサイド投函またやドライブスルー投票のための経路を運転者に示すと同時に、選挙スタッフと話す場合にはマスクを着用することを有権者に再認識させるようになっています。

### *開票*

登録・選挙部門は投票用紙が確実に正確かつ効率的に集計されるように、スタッフ配置とテクノロジーの準備を整えています。当部門では 2019 年に集計システムを交換し、スタッフはこの新しい機器を 2019 年 11 月 5 日統一地方、学区および特別区選挙と 2020 年 3 月 3 日大統領予備選挙で利用する機会を得ました。この新機器によって「郵送による投票」の封筒を最大で 1 時間ごとに 5 万枚処理することが可能です。

## 有権者教育およびアウトリーチ

パンデミック中に実施される選挙は、有権者が自身の投票の選択肢と権利を認識し、投票が安全かつ確実であり、障壁がないものであると確信できて初めて、成功可能です。

効果的な教育とアウトリーチは、「信頼できる使者（メッセンジャー）」によって情報が伝えられた場合に達成されます。調査によれば、政府機関、コミュニティ組織、非政府組織、および諮問委員会 は選挙事項に関して信頼できる使者の役割を果たします。この理由から、私どもは有権者を結び付けるための協調的なアウトリーチネットワークを継続していきます。

### 有権者ワークショップ

登録・選挙部門では、コロナウィルス感染症のために、対面でのワークショップに代わって、コミュニティパートナーとのオンラインワークショップを開催します。

2020年9月と10月のワークショップは、言語コミュニティと障害を持つ有権者に、2020年11月3日の大統領本選挙の投票への変更事項を通知するために実施されます。本書の発行時点では計画が進行中です。

### テキストメッセージで有権者に連絡

コミュニティイベントが開催できない状況下にあつて、登録・選挙部門は25,000名の若い有権者、投票権がありながら未登録の地域在住者、および投票に積極的でない有権者への連絡のためにテキストメッセージを送ります。

当部門では、部門のデータベースに含まれる若い有権者、初めて投票する有権者、投票に積極的でない有権者と、Political Data社のデータベースの携帯電話番号を相互参照します。若い有権者と初めて投票する有権者の投票を促すために、最大3つのテキストメッセージが送られます。メッセージはTextSurge社の従業員によって送信されます。

TextSurge社は、選挙登録のための情報を提供するために、郡内で登録率/投票率の低い地域（デイリーシティ、イーストパロアルト、および地方自治体に属していない地域）の18歳以上の郡在住者に連絡するための情報を取得します。当部門ではTextSurge社が取得した氏名と他の識別情報を、部門のデータベースと相互参照し、該当する人物が現時点で選挙登録をしていないことを確認します。

最終的に、当部門では登録率/投票率の低い同じ地域に住む投票に積極的でない有権者と、Political Data社からの携帯電話番号とを相互参照し、該当の有権者が移転していない場合、または再度選挙登録する場合、当部門に連絡しない限り、サンマテオ郡からの投票用紙を郵便で受け取ることができないことを通知します。

### 登録率が平均以下の地域を対象とするハガキ

コミュニティイベントが行われなかったことによって投票機会を逃す可能性のある有権者へのテキストメッセージに加えて、登録・選挙部門では登録情報を4つの言語で記載したレターサイズ（8.5x11インチ）のハガキを約10万世帯に宛てて送ります。このハガキは米国郵政公社（USPS）の「Every Door Direct Mail」によって、デイリーシティ、イーストパロアルト、メンロパーク、レッドウッドシティ、サンプルーノ、サウスサンフランシスコ、および地方自治体に属していない地域に分けて配達されます。

## 選挙管理計画 2020 年～2024 年付属書のまとめ

### 提案されている投票センターの場所

選挙部門では、投票センターの数を 2020 年 3 月 3 日の大統領予備選挙における 42 カ所から 11 月 3 日の選挙では 45 カ所に増加します。

選挙日に先立つ 11 日間には投票センターのオープンはありません。

3 カ所の新たな投票センターに加えて、物理的距離の維持と一方通行のパターンを生み出すスペースを確保するために、いくつかの投票センターの場所が変更されました。新しい投票センターの場所は従来と同じ選択基準（カリフォルニア州有権者による選択法（VCA）の 15 の選択基準、コミュニティからのインプット、および「Center for Inclusive Democracy」の投票会場の設置場所ツール）を用いて選択されました。

2 つの新たな自立型移動式投票センター（Mobile Vote Center）の取得計画は一時的に棚上げされました。アクセシビリティ用傾斜路の付いた移動可能な建物が、これら自立型センターの 1 つに代わってリースされました。移動式投票センターとなる場所は、VCA の規準、コミュニティからのインプット、および「Center for Inclusive Democracy」の投票会場の設置場所ツール）の使用に基づいて選択されました。

### 投票用紙投函ボックスの配置場所

毎日 24 時間利用できる戸外の配置場所を 3 月の 9 カ所から 11 月には 29 カ所に増やしました。場所は従来と同じ選択基準（カリフォルニア州有権者による選択法の 15 の選択基準とコミュニティからのインプット）で選ばれました。投函ボックスは安全で、障害のある有権者がアクセス可能であり、公共交通機関のルートに可能な限り近い場所に配置されています。

### 投票センターのレイアウト

ソーシャルディスタンスを実現し、可能であれば、人の流れを一方向に制限するために、より大きな部屋を使用する際のレイアウト例が新たに開発されました。

### コミュニティパートナー

コミュニティパートナーセクションにコミュニティベースの 3 つの組織を迎えることができました。

### コミュニティイベントカレンダー

3 月 3 日の選挙後、対面での対外的な全てのイベントはコロナウィルス感染症を受けてキャンセルされました。5 つの仮想イベントが現在予定されています。

### メディアパートナー

7 つのメディアパートナーが追加されました。

### 例：有権者への直接的な連絡

ハガキ 1 にはこれまでと同様に、投票センターの日付、オープンする日数と時間に関する表が含まれます。コロナ感染症に対する準備および有権者全員が RAVBM システムを利用できる可能性についての情報が追加されました。

ハガキ 2 と 3 にも当郡のコロナウィルス感染症への準備に関する情報と有権者全員が RAVBM を利用できる可能性についての情報が追加されます。

## パブリックコメント

パブリックレビュー期間に受領されたすべてのコメントを、登録・選挙部門からの回答と共に以下に発表します。

2020年9月29日

Eメールにて

チャーチ様：

コロナウイルス感染症に関する変更に対処するサンマテオ郡の選挙管理計画（EAP）補助資料についてのコメントを提出する機会を得たことに感謝いたします。「Disability Rights California (DRC)」は、障害のあるカリフォルニア州民のための保護および擁護システムであり、中でも「障害のある個人が投票のための登録、投票の実施、および投票所へのアクセスを含む選挙プロセスに完全参加」できるように確保するための責任を負っています。（42 U.S.C. § 15461 を参照。）

有権者センターと投函ボックスについてのコメント：

### 投票センターと「ポップアップ」投票センターの移動およびアクセシビリティ

サンマテオ郡の EAP 補助資料には「物理的距離の維持と一方通行のパターンを生み出すスペースを確保するために、いくつかの投票センターの場所が変更されました」および「変更された投票センターの場所はこれまでに使用された場所の付近に留まることを目指しました」（6 ページ）と記載されています。パンデミックの最中に投票センターの場所を決定することの難しさは理解しますが、「カリフォルニア州有権者による選挙法（VCA）」は、投票センターを移動する前に 4005(a)(10)(B) 項が定める 15 の要素のすべてを検討することを義務付けています。これらの要素がおそらく検討されたであろうと理解しますが、それについての考察は新たな場所はこれまでの場所の「付近に留まる」との説明以上のものであるべきです。これらの要素、とりわけ「近接性」要素についての考察をご説明ください（例：その場所が障害者コミュニティに最も近いかどうか）。（選挙コード§ 4005(a)(10)(B)(v)参照）同様のことが2つの「ポップアップ」投票センターの場所の考察についても適用されます。

DRC はまた、サンマテオ郡がすべての投票センターおよび「ポップアップ」投票センターの場所が身体的にアクセシブルであることを確認することも奨励します（選挙コード§§ 1604, 4005(a)(4)(C)参照）。すべての投票センターの場所が身体的にアクセシブルであると選挙計画文書内で説明することがベストプラクティスであると私たちは考えます。

### 投函ボックスのアクセシビリティと新たな場所

投票センターと同様に、VCA は投票用紙投函ボックス（およびその場所）が障害のある有権者にとって身体的にアクセシブルであることを義務付けています（選挙コード 4005(a)(1)(B) 項参照）。DRC はサンマテオ郡がこの事実を EAP 補助資料に含めることを強く要請します。これによって、障害のある有権者がサンマテオ郡のすべての投函ボックスにアクセスできることが保証されます。

DRC はさらに、3カ所の新たな投函ボックスの各設置場所について、サンマテオ郡が VCA の 4005(a)(10)(B)項（とりわけ「近接性」の要素）に基づく 15 の要素についての考察を確認することを奨励します。

### カーブサイド投票

サンマテオ郡の EAP 補助資料はカーブサイド投票について説明する必要があります。カーブサイド投票は、投票センターへのアクセスが（アクセシブルであるセンターにすら）身体的に困難な有権者にとって重要な処置です。今回の選挙において、カーブサイド投票は脆弱な人々のグループに属する有権者がコロナウイルス感染症への潜在的な暴露を回避することを可能にします。また、サンマテオ郡

の選挙に関するウェブサイトでカーブサイド投票について説明することがベストプラクティスであるとも考えます。

最後に、カーブサイド投票の提供に影響するコロナウィルス感染症予防措置に関する通知を含めるようお願いいたします（例：スタッフは消毒剤と消毒済みの器具をカーブサイド投票を利用する有権者に持参する）。

総合的なコメント：

### 直接投票するすべての有権者が不当な遅延なく投票することを可能にする

EAP 補助資料は「*[投票所係員]* はマスクを付けていない人物が**ガイダンス** *[California Department of Public Health (CDPH) Face Covering Guidance (カリフォルニア州公衆衛生局マスク着用ガイダンス)]* に従っている場合、基本的な投票の権利を否定しないために、マスク着用の例外事項についても説明を受けます」と述べています（5 ページ（強調は筆者による））。しかしながら、州長官（SOS）の最近の CC/ROV（「コロナウィルス感染症下の選挙管理ガイダンス」）では、投票所係員は「マスクを着用していない有権者を不当に遅延してはならない」および同様に、「**選挙係員はマスク不着用を理由に有権者を拒否してはならない**」ことを明確にしています（CC/ROV 覚書、第 20154 号（2020 年 7 月 21 日）9、20 ページ参照。強調は筆者による）。

したがって、CDPH のガイダンスに基づく例外事項に該当しない有権者であっても、その有権者が直接に投票するために投票所に到着する限りにおいて、サンマテオ郡の選挙係員によって、不当に遅延されたり、投票を拒否されたりすることがあってはならないのです。SOS ガイダンスに記載されたこれらの重要点を反映するために、EAP 補助資料の文面を明確にしてください。

### 障害のあるすべての有権者に尊厳と敬意をもって接する

EAP 補助資料は、「マスクを着用できない有権者は、屋外で投票するか、その人物と他の有権者との追加の距離を提供するために待機することを要請される可能性があります」と記しています（5 ページ）。このガイダンスを実施する投票所係員が、障害のある有権者（マスクを着用できない人を含む）に対応する際のエチケットについて十分な訓練を受けることを確認してください。投票所係員は、障害のある有権者の尊厳を尊重しつつ（例：マスクを着用できない人々を「他人化」しない）、これらの有権者が不当な遅延なく投票することを可能にしなが、公共の安全を確保できるようにする必要があります。

コミュニティと外部のインプットへの積極的な対応に感謝します。チャーチ様とスタッフの皆さんと常に連絡を取り合うことができることをありがたく思います。質問やコメントがある場合はいつでもご連絡ください。

敬具、

フレッド・ナイセン  
Voting Rights スーパーバイジング弁護士  
Voting Rights Practice Group

ジェイソン・H. コナー  
Voting Rights 専属弁護士  
Voting Rights Practice Group

ポール・R. スペンサー  
Voting Rights 専属弁護士  
Voting Rights Practice Group

---

### 登録・選挙部門からの回答

ナイセン様、スペンサー様、コナー様：

「2020 年 11 月 3 日選挙に向けた 2020 年 1 月から 2024 年 1 月の期間に関するサンマテオ郡の選挙管理計画 (EAP) に対する補助資料」へのコメントと提案をありがとうございます。登録・選挙部門は、障

害のあるカリフォルニア住民の権利の保護と擁護における「Disability Rights California」の専門知識を大いに尊敬しており、私共が当コミュニティ内の障害のある個人により良く奉仕する方法についての専門知識を提供くださる貴組織をパートナーとして信頼しています。

ご指摘のとおり、投票センター、モバイル投票センター、ポップアップ投票センター、および投函ボックスの場所は、「カリフォルニア有権者による選択法」の基準とコミュニティのインプットに従って常に選択されてきました。この補助資料にその情報を追加しました。また、すべての投票会場、投函ボックス、およびそれらの場所がアクセシブルであることも追加しています。

私共はこの補助資料を「選挙管理計画」と合わせて使用される文書であるとみなしていました。過去を振り返り、本情報を選挙計画文書のすべてに含めるのがベストプラクティスであるという点に同意します。当郡の投票場所の選択に使用される基準と、すべての場所がアクセシブルであることを誇りを持ってここに示します。このベストプラクティスを本文書に提供くださったことに感謝します。今後の文書にこれを組み込みます。

私共では「2020年1月から2024年1月の期間に関するサンマテオ郡の選挙管理計画 (EAP)」にカーブサイド投票を含めていたため、当初はこの補助資料にカーブサイド投票の説明をしていませんでした。コロナウィルス感染症下におけるカーブサイド投票の実施に必要な変更の詳細説明のニーズを指摘くださったことを感謝します。本補助資料およびウェブサイトの情報を追加しました。

いただいたアドバイスによって、「カリフォルニア州公衆衛生局マスク着用ガイダンス」への言及を削除しました。明確化のために、マスクを着用しない有権者を拒否することはなく、マスク未着用の有権者に不当に遅延がもたらされることはありません (CCROV 覚書、第 20154 号によって)。

すべての投票センターの担当者は障害に関するセンシティブティの訓練を受けています。障害のあるすべての有権者に尊厳と敬意をもって対処することは、登録・選挙部門の最重要事項です。すべての有権者を尊厳と敬意をもって対処することが私共の目標です。